



4/10(火)竹喬美術館特別展(~4月15日)

中学校入学式

11(水)おかげいち

12(木)

13(金)

14(土)

15(日)北木島の流し雛

16(月)

17(火)

18(水)

19(木)戦没者追悼式

20(金)

21(土)

22(日)オリエンテーリング大会in白石島

23(月)

24(火)

25(水)

26(木)

27(金)

28(土)

29(日)昭和の日

菜の花フェスタ2007

子どもフェスティバル

30(月)振替休日

5/1(火)憲法週間(~7日)

2(水)

3(木)憲法記念日

真鍋島の走りみこし(~5日)※予定

4(金)みどりの日

5(土)こどもの日

6(日)

7(月)

8(火)

9(水)

瞳輝いて



増田有里子さん

笠岡商業高校3年

河合優葵さん

笠岡商業高校3年

とにかく楽しい!と話す 笑顔いっぱいの二人組

3月に香川県多度津町で開催された全国高等学校選抜少林寺拳法大会に組演武で出場した河合さんと増田さん。

完璧な演武を目指して「とにかく何度も繰り返すこと」と妥協を許さず、日々の練習に取り組む頑張り屋の二人。

学校以外に週に4日は、笠岡道院で小学生から社会人まで幅広い年齢層の人達と一緒に練習し、少林寺拳法以外にも「学ぶことが多く、話をするのがとても楽しい。」そうです。競技人口が少ないため「やってみると絶対楽しいので、みなさんぜひやってみて」と笑顔で話してくれました。

鳥越新兵衛は、江戸時代に、入江新田・西大島新田干拓を行なった人です。小田郡本掘村(今の矢掛町本掘)出身で、大阪に出た土木業で成功、尼崎屋を興しました。鳥越新兵衛は、正徳三(一七一三)年、横島から西大島にかけての干潟の干拓を計画し、共同事業者の西川屋源右衛門と、笠岡代官に干拓工事を願いました。しかし



鳥越新兵衛成寿の墓

笠岡市指定史跡

鳥越新兵衛は入江新田村の庄屋に取り立てられ、竹ヶ端に屋敷を建てて永住しました。そして宝暦十一(一七六一)年に九十一歳という長寿で亡くなりました。お墓は、屋敷の背後の干拓地を見渡せる小高い丘の上に建てられました。このような大規模な干拓工事を民間の事業者が行うことは珍しく、新田開発に貢献した傑出した人物です。

代官が短期間に次々に交代したことや、予定地は幕府領・私領が入り組み複雑であったため、なかなか許可が下りませんでした。許可が下りたのは十年以上経った享保一〇(一七二五)年です。その後工事が進められ、享保一六(一七三一)年に完成しました。完成した入江新田・西大島新田・浜中村(今の里庄町)の新田を合わせると、約五十二ヘクタールになります。入江新田・西大島新田はそれぞれ新しく村となり、西大島新田は鴨方藩領に、入江新田は幕府領となりました。

歴史を訪ねて
笠岡市の文化財